

連盟会報

発行日：2017(平成29年)11月22日

発行：一般財団法人 日本抜刀道連盟
◆企画・構成・編集◆ (広報部)
…事務局…〒130-0026
東京都墨田区両国 2-21-5 両国ダイカンパザ802号
☎:03-3631-5851 FAX:03-3631-5852

一般財団認定 第1回大会

第26回 日本抜刀道連盟全国大会

連盟創立以来二十六年を迎え一般財団認可：初の本連盟「第二十六回日本抜刀道連盟全国大会」が秋晴れの十月二十八日(土曜)。神奈川県立武道館に於いて予定通り十時に開会。大会は盛大に開催され参加選手の気合が晩秋の武道館に走った。開会式は「選手各位の、この一年の修練成果と奮闘」を期待し、本連盟「第二十六回 全国抜刀道大会」の開会を宣言すると、高らかに大会実行委員長 中島正夫(連盟副会長)の気迫ある肉声の力強い開会宣言で幕を開けた。

そして、国旗に拝礼。静寂なる会場の中で一同は君が代斉唱。財団認可を迎えた連盟発展の陰には多くの先生方がご逝去されており、その御霊にご冥福を祈り私達の誠を捧げたいと互いに誓った。

参議院議員・自民党総務副会長・元内閣府副大臣の、本連盟大会名誉会長 岡田 広 先生からは、抜刀道は《術》から《道》へと変わった。抜刀道に於いては、伝統の刀法を極める中で求められるのは日本刀同様に「優雅さと尊厳」であり、また威厳であります。選手諸君に於いては、本大会に於いては日頃の鍛錬の成果を思う存分発揮されると共に、公友を深め本大会を明日からの鍛錬の励みとして、抜刀道の神髄を極めてほしいとの激励のご挨拶があった。

また、大会会長 大江 正男(連盟会長)は、抜刀道界の団結を提唱された、中倉清先生・中村泰三郎先生・中村鶴治先生の意志を忘れる事なく大会を進め、各連盟との交流を深めて行きたい。今回の大会から競技内容を(六段・七段)の実技を競技追加する。また、昨年同様に文部科学大臣より殊勲章を戴き優秀な成績の選手に授与される。抜刀道修練の心得は《錬磨》するものであつて上達の妨げとなるのは《慢心や我執》である。そして、本大会を安全第一に無事故で、好成績を納めてほしいとの挨拶があった。

続いて大会顧問 中世古勝司(相談役)は、抜刀道の理念は「刀法・刀技の研修」・「礼に即した体配の修練」・「品位品格の向上」そして人間形成の道であり修練の眼目である。

昨今は、厳しい変革の波にさらされ、道徳心の乱れが目立ち、ともすれば(人の道)が損なわれつつある現在。私達は、日本古来の伝統を継承し武道の原点とも言うべき抜刀道の(道)を通じ「心・技・体」を自ら養い、人格形成に努めることは極めて意義深いこと。抜刀道修練の意義を説かれた。なお、大会全般の総合司会は、菅野 茂 事務局局長の進行で手際よく進められた。

…◆連盟の次代を担う各県各支部精鋭選手の雄姿◆…

第26回 日本抜刀道連盟 全国大会

2017年(平成29年)10月28日 於：神奈川県立武道館



…修練と絆 ◆ 絆と連帯…



…“開会式”…

大会挨拶で選手激励をする
名誉会長 岡田 広 先生(左)
大会会長 大江 正男 先生(右)

立武道館に走った…
選手各位の『熱気と闘魂』が、ここ神奈川県
式で静寂した、会場の空気を一変して破り、
審判団の先生方を中心に試合が展開され開会
そして、競技開始の太鼓の合図で各会場は、
連盟制定組太刀は、中島 正夫 実行委員長
の立ち会いと解説により、打太刀：佐藤 淳一
教士七段。仕太刀：井林 幹明 錬士六段が凛
々しく演武を行った。

審判長 大塚 光男(教務部長)からは競技に
望み選手の心得と審判判定の要点等々の詳細
注意があり：続いて選手宣誓は、川崎支部の
富川 仁 選手が代表して行い、参加選手の内
意気を大会会場に響かせた…
露城いは、大江正男 大会会長の立ち会いに
より競技中の安全を祈願し大塚 光男 審判長
が、会場の『邪』を厳肅に祓った…



大会を成功裡に導く
審判団の先生方
真剣弘百邪：露城い
大塚光男 教務部長



…連盟制定…組太刀…
◆打太刀：佐藤淳一 教士七段 ◆仕太刀：井林幹明 錬士六段
〈立会・解説〉中島正夫 大会実行委員長



…“競技◆試合”…

武道館に走る…選手の気迫…
競技熱戦を通じ、参加選手の練度の向上が目立ち、
各支部長・公認指導員を中心とした修練指導の成果
を感じ取った。また、大会競技は、審判主任を中心
とした審判団の先生方の真剣なるメリハリある審判
判定の姿に選
手は刺激を受
け気迫ある素
晴らしい競技
展開となった。



成績発表 ◆入賞者一覧◆

| 個人戦・形、実技の部 | | | | |
|-------------|--------------------------|------------------|------------------|------------------|
| 段別試合種目 | 優勝 | 準優勝 | 三位 | |
| 制定刀法(形)個人戦 | 初段以下 佐々木 伸 福山郡山支部 | 高島 孟 讃岐拔刀道支部 | 木下 全雄 鎌倉支部 | 植村 宏司 川崎支部 |
| | 二・三段 稲田 雄輔 讃岐拔刀道支部 | 鈴木 久慶 高知拔刀道支部 | 富川 仁 川崎支部 | 宮田 靖彦 高知拔刀道支部 |
| | 四・五段 長野 宏治 士成会支部 | 濱田 定昭 高知拔刀道支部 | 浦井 一彦 笠間洗心館支部 | 塩原 斉 川崎支部 |
| 制定刀法(実技)個人戦 | 初段以下 庄司 一憲 士成会支部 | 森本 誠 高知拔刀道支部 | 佐々木 伸 福山郡山支部 | 植村 宏司 川崎支部 |
| | 二・三段 功刀 一好 川崎支部 | 小林勇起雄 川崎支部 | 鈴木 久慶 高知拔刀道支部 | 田村 悟 川崎支部 |
| | 四・五段 三宅 康司 讃岐拔刀道支部 | 平岡 美代 讃岐拔刀道支部 | 廣川 憲司 大阪支部 | 柴田 輝久 東京道場 |
| | 六・七段 古田 忍 讃岐拔刀道支部 | 境 泰雅 高知拔刀道支部 | 藤本 佳嗣 讃岐拔刀道支部 | 関原 勝 埼玉支部 |
| 団体戦の部 | | | | |
| | 優勝 | 準優勝 | 三位 | |
| 制定刀法(団体戦) | 先鋒 庄司 一憲 | 森本 誠 | 遠藤 正幸 | 平岡 美代 |
| | 中堅 長野 宏治 | 鈴木 久慶 | 稲田 雄輔 | 三宅 康司 |
| | 大将 山下 秀造 | 濱田 定昭 | 高島 孟 | 内田 尚仁 |
| | 支部名 士成会支部A | 高知拔刀道支部B | 讃岐拔刀道支部B | 讃岐拔刀道支部A |
| 殊勲賞文部科学大臣 | 長野 宏治 | | 士成会支部 | |
| 中村杯 | 三宅 康司 | | 讃岐拔刀道支部 | |
| 中倉旗 | 庄司一憲、長野宏治、山下秀造 | | 士成会支部A | |
| 大会会長賞 | 古田 忍 | | 讃岐拔刀道支部 | |

… “閉会式” …

◆第26回 全国大会“団体戦”◆
中倉旗 士成会支部(A)に栄冠

先鋒：庄司 一憲・中堅：長野 宏治・大将：山下秀造



◆ 殊勲賞 文部科学大臣賞 ◆

制定刀法(形)個人戦 4段・5段の部
《優勝》士成会支部：長野 宏治 選手



讃岐拔刀道支部
三宅 康司 選手

◆ 中村泰三郎杯 ◆
制定刀法(実技)個人戦
《優勝》4段・5段の部



◆ 大会会長賞(新設) ◆

制定刀法 6段・7段(実技)の部
《優勝》讃岐拔刀道支部 古田 忍 選手



Report ◆ ◆ ◆
…功労者表彰 ならびに 感謝状の授与…

- 功労賞 ◆
前・笠間洗心館 支部長
太田 丈夫 先生
水戸虎進会 支部長
森山 進 先生
- 感謝状 ◆
埼玉支部 支部長 敬 先生
田島 敬 先生
- 支部長
飛田 明 先生
- 葵心会

一般財団法人に併い、永年に互り連盟組織活動に(協力・貢献)された先生方に全国大会(開会式)の席で「功労賞・感謝状」が金一封を添え授与された。

Sweet Christmas 編集後記

熱烈歓迎“台湾…ドイツ”チーム！

会報

…◆第53号◆…
(P-4)
企画・構成・編集：広報部

…◆支部便り◆…

西日本合同秋季講習会 5以下昇段審査会の開催

平成二九年九月九日(土曜)。高知支部(支部長 境 泰雅) 主管で恒例の《制定刀法伝達講習と審判講習》が開催された。今年も、五段以下の(昇段審査)を兼ね、沖繩支部(支部長 譜久原 支部長)・香川から、讃岐抜刀道(平岡支部長)・高知支部(境 支部長)の引率で各県から三六名が参加し一泊二日の合宿で盛會裡に開催された。

講習会は、平岡 教士七段・藤本 教士七段・今村 教士七段・境 教士七段・細川 教士六段により段位別に別れて、充実した決め細かな指導が行われた。審査会は、受審者八名中(五段一名・四段一名・二段一名・初段一名)の四名が合格した。

孤軍奮闘し、本件の講習会を主管で取りまとめた、境 高知支部長は、年を追うごとに参加人数も増え、さらに充実感のある講習会にして行きたいと力説されていた。



写真の後ろ左より、
陳永隆・蔡偉徳・林英仁・陳炳華・曾伯勳・翁武義・陳永鴻・翁漢誠・徐欣如・葉凱茵

剣道場

ドイツ支部
ウエイン・チョウ選手

審判主任 遠藤 仁先生
日本抜刀道連盟 福士八段

大会審判長 大塚 光男先生
日本抜刀道連盟 教務部長

進行委員長 菅野 茂先生
日本抜刀道連盟 副会長

実行委員長 中島 正夫先生
日本抜刀道連盟 副会長

大会 会長 大江 正男先生
日本抜刀道連盟 会長

大会顧問 中世吉勝司先生
日本抜刀道連盟 相談役

大会顧問 金子 翼先生
日本抜刀道連盟 参事

理事長 中村 憲三先生
国際抜刀道連盟

会長 藤谷 嘉成先生
全日本山添流合道連盟

最高師範 下田 泰心先生
日本総合武道高武部

宗家 日比野正晴先生
神刀流

▼ 本連盟財団認可…。認可の初回となる第26回抜刀道全国大会は、“台湾&ドイツ”チームが参加し国際色を匂わせつつ大会は盛大に開催された…。この機の情報伝達する為に、連盟広報部は“編集後記”で“特集”を組み、遠路海外から参加された選手各位の《労と情熱》に敬意を表し、此処に広く“会報”を通じお知らせする…。

▼ 台湾支部は、本連盟の“菅野 茂”事務局長の指導により“陳 永隆(6段)”を中心に修練を積んでいる…。
菅野事務局長は、台湾TV局番組の“版權”を販売する会社を現地で経営しており、月末に1週間程度の出張をする…。台湾支部の稽古日は(月曜日)、菅野事務局長が出張時に現地で直接に指導し…。支部創立“12年”になるが現在でも、抜刀道愛好者“32名程”が参加し修練に励んでいるとの事である…。

▼ 去る2015年(平成27年)10月5日。台湾支部は、陳 永隆団長以下“7名”が初来日し大会で活躍した。この折りに“連盟本部広報部長”が直接に“陳 永隆団長”にインタビューしたが、菅野師範の留守中…。稽古は、まず師の教えを守り、稽古中の安全を確保する為に、稽古に入る前には、必ず『目釘の点検・鏝のガタ・鞘の割れ』を点検させ稽古に入るとのことであった…。

▼ 以上の事から…さすがに連盟事務局長の抜刀道理念と指導により、組織的にも台湾支部は非常に統制がとれた行動と“技の錬度”の高さが印象的で“将来の期待”大と確信した…。
また、今回の大会では、ドイツから“ウエイン・チョウ”選手(2段)が参加したが…。今年9月に本連盟菅野事務局長がドイツを訪ね、17名が集まった“抜刀道講習会”を開き抜刀道への理解を深めた結果と評価される…。

副会長
中兼
島 広
正 報
夫 部
長



▼ 連盟の発展と共に、これからの大会は国際色豊かに海外からの参加の増大が見込まれる…。

▼ 《競技の勝敗》はともかく…。私達は遠路海外から参加される選手に対し、敬意をもって心温かく迎え積極的に対話を交わす中で、本連盟が提唱する『修練と絆・絆と連帯』を、明日に向かって互いに築いて行こうではないか!…。



西日本合同秋季講習会 主管：高知支部

“菊づくり 菊みるときは 陰の人” ご苦労様！ 大会準備委員

全国大会と言う《菊の大輪》を咲かせ成功に導く、その陰(裏方)には、選手を心温かく迎える為に『仮標の製作・運搬・会場設営・撤去』と準備委員が活躍する陰の姿が隠されている…。



総責任者
事務局 小林 克巳



大会準備総責任者
藤田 久男

大会が終わり選手は帰路に入るが…慌ただしく動き回る準備委員の会場撤去作業は続く…。武道館の会場は、観覧席と選手控えが一緒になっており選手控えに残されたゴミ集めと会場返却の最終確認で奔走する総責任者と補佐の後ろ姿には頭が下がる…。皆様の協力を願う!…。